



チョコレートが食べたくなる本



『チョコレートの事典 世界中で愛されるチョコレートのすべて』

チョコレートの歴史はなんと4000年！いつ、どのようにチョコレートは作られ、広まってきたのでしょうか？世界で一番チョコレートを食べる国は？ チョコレートを使った簡単レシピから、ワンランク上のプロ直伝レシピ、そして思わず買いに行きたくなる海外・国内ブランドのチョコレートも豊富なカラー写真とともに満載。

本の題名通りチョコレートのことなら何でもわかる「事典」。



『チョコレートの研究 おいしさのヒミツと歴史、お菓子づくり』

チョコレートは遠い昔から世界中の人々を魅了してきました。その人気の秘密を探る絵事典です。

- [第1章] チョコレートができるまでを探ってみよう
- [第2章] チョコレートってなんだろう
- [第3章] チョコレートの歴史を知ろう…
- [第4章] つくってみよう！ チョコレートのお菓子



『チョコレート工場の秘密』 ロアルド・ダール

チャーリーの町にあるチョコレート工場は、世界一広大で世界一有名。でも、働く人たちの姿をだれも見ることがない、ナゾの工場！そこへ5人の子供たちが招待されることになった。招待状の入ったチョコレートは、世界にたったの5枚。大騒ぎになったけれど、チャーリーには望みがない。貧しいチャーリーがチョコレートを口にするのは、一年に一度、誕生日に1枚だけなのだから……。

本書は1971年公開「夢のチョコレート工場」、2005年公開「チャーリーとチョコレート工場」と二回映画化された。また、続編に『ガラスの大エレベーター』がある。



『チョコレート・アンダーグラウンド』 アレックス・シアラー

舞台はおそらく現代のとある国。選挙で勝利をおさめた〈健全健康党〉は、なんと〈チョコレート禁止法〉を発令した！国中から甘いものが処分されていく……。そんなおかしい法律に戦いを挑むことにしたハントリーとスマッジャーは、チョコレートを密売し、〈地下チョコバー〉を始めることにした！

チョコレートがこの世からなくなったら、あなたはどうしますか？



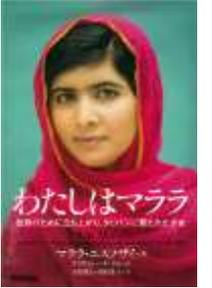
今、読みたい本

★2014年史上最年少でノーベル平和賞受賞 マララ・ユスフザイさんの本★

『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

「すべての子どもに教育を」と訴え、イスラム武装勢力に銃撃された16歳の少女・マララの手記。本書は、テロリズムによって生活が一変した家族の物語でもあり、女の子が教育を受ける権利を求める戦いの記録でもある。

世界36か国で翻訳のベストセラー！



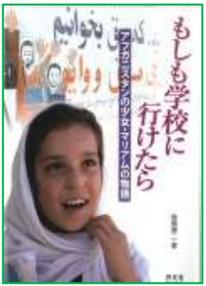
★フリージャーナリスト 後藤健二さんの本★

『もしも学校に行けたら アフガニスタンの少女・マリヤムの物語』

「学校に行きたい！」そんな少女たちの夢が、ようやくかなうことになったアフガニスタン。

けれども、30年以上も戦争が続き、大地も人の心も荒れ果てたこの国で、それは簡単なことではなかった。

2001年秋から、のべ1年近くの取材に基づくノンフィクション。



★2月28日映画公開

著者・中田永一とは、実はすでに多数の作品を出されているある有名作家の別名義！★

『くちびるに歌を』

長崎県五島列島のある中学合唱部が物語の舞台。合唱部顧問の松山先生は産休に入るため、中学時代の同級生で東京の音大に進んだ、元神童で自称ニートの美しすぎる臨時教員・柏木に、1年間の期限付きで合唱部の指導を依頼する。

それまでは、女子合唱部員しかいなかったが、美人の柏木先生に魅せられ、男子生徒が多数入部。ほどなくして練習にまじめに打ち込まない男子部員と女子部員の対立が激化する。夏のNコン（NHK全国学校音楽コンクール）県大会出場に向け、女子は、これまで通りの女子のみでのエントリーを強く望んだが、柏木先生は、男子との混声での出場を決めてしまう。

一方で、柏木先生は、Nコンの課題曲「手紙～拝啓 十五の君へ～」にちなみ、十五年後の自分に向けて手紙を書くよう、部員たちに宿題を課していた。提出は義務づけていなかったこともあり、彼らの書いた手紙には、誰にもいえない、等身大の秘密がつづられていた……。



学校図書館からのお知らせ

3年生 最終貸出日 2月17日(火) 最終返却日 2月24日(火)

1・2年生 最終貸出日 3月5日(木) 最終返却日 3月12日(木)